

### 新型コロナウイルス感染症を悪用した悪質商法対策について

無会派

小井戸 真人



**問** 新型コロナウイルス感染症を悪用した悪質商法による被害が発生しているとの注意喚起が行われているが、高山市における状況と対応策は。

**答** 新型コロナウイルス感染症に便乗した詐欺を心配した相談が現時点で6件寄せられているが、被害報告はない。市では安全安心メールの配信をはじめ、ヒッツFM、広報たかやま、ホームページ、チラシなどの各種広報媒体を活用して、注意を呼びかけるとともに消費生活センターにおいて相談にあっている。



### 新型コロナに対応できる地域医療体制の整備

高山市政クラブ

西本 泰輝



**問** 最大60床の受入病床を確保する見込みとしているが、新型コロナウイルスの感染状況に応じた受入医療機関の役割や協力体制、PCR検査を実施する地域外来・検査センターの内容、医療機関への支援強化は。また、国保診療所の診療体制や受入態勢など感染症対策は。

**答** 患者発生 of 早期から宿泊療養施設を開設し、飛騨保健所を中心に受入調整し協力体制も準備する。地域外来・検査センターは、県の委託で6月末までに開設し1日10検体を採取。医療スタッフ確保や医療機関支援等も研究し、国保診療所では発熱者対応も検討する。



### 緊急事態宣言解除後の地域活動の再開は

高山市政クラブ

中谷 省悟



**問** 感染防止策として3密を避ける生活により、まちの活気と人の心が沈んでいるように思われる。まち協や町内会は様々な活動を通して支えあいや協働により安心安全のまちづくりをしてきている。感染防止に配慮しつつもコミュニティの活性化が必要であると思うが。

**答** 緊急事態宣言発令下では従来の活動が難しい状況にあった。そのような状況でもまち協や町内会などでは子どもたちへの弁当配布や住民へのマスク配布など思いやりと助け合いの輪が広がった。今後も予防対策をお願いし、地域コミュニティの活性化にともに取り組んでいく。



### 人の命は地球より重い！自殺防止について

高山市政クラブ

西田 稔



**問** 本市の自殺死亡率は国や県と比べて高い状況にある。また、自殺死亡率は失業率に比例すると言われていいる。新型コロナウイルス感染症の影響で失業率が上がり、「命の門番」ゲートキーパーの養成講座も中断しているなか自殺者の増加が懸念される。市の対応は。

**答** 新型コロナウイルス総合窓口を設置し様々な相談や問い合わせに対応している。今のところ失業に起因して深く悩んでいる、また、自殺の心配がある人が身近にいるという相談はない。緊急事態宣言の解除によりゲートキーパー養成講座をはじめ自殺対策に取り組んでいく。



厚生労働省ホームページから